

皆さん…参加しませんか!

平成 21 年度 和臨技

HIV/AIDS 対策海外人材育成研修

エイズ、結核の疫学と調査計画作成法

◆ **研修概要:** HIV/AIDS/STI/TB 感染は世界中で著しい速さで増加しています。特に先進国の中でも日本の HIV 感染者、エイズ患者数は増加し若年層にもひろがりつつあり、わが国でも早急に対策を取る必要があります。この研修では、アジアの国々(日本、タイなど)の臨床検査技師と共に、疫学とサーベイランスの基礎知識、HIV/AIDS/STI/TB の疫学とタイ国の現状(施設見学も含む)、実用性のある調査計画作成などを学び、技術向上を目的とした研修内容を予定しております。また、エイズホスピス寺院を訪問し、エイズ孤児のケアやボランティア活動についても学びます。バンコク近郊の静かな場所で、アジアの臨床検査技師と共に学び、交流を深める事でネットワーク構築の一環となれば幸いです。この研修の企画をご理解いただき多くの方々の参加を期待しています。

◆ **研修期間:** 2009 年 9 月 19 日(土)～9 月 21 日(月)

◆ **研修国:** タイ国(バンコク郊外研修施設 Training & Hilling)

◆ **参加資格:** 社団法人 日本臨床衛生検査技師会会員、賛助会員および医療関係者

◆ **募集人員:** 10 名

◆ **言語:** 英語(通訳が付きます)

◆ **研修費用:** 100,000 円(予定)

※大幅な為替変動や航空運賃の改定により変更となる場合があります。

<研修費に含まれるもの>

研修日程に明示したエコノミー航空運賃、宿泊料金(4泊・朝食付き)、研修会費用、空港からホテルまでの送迎バス費用、パーティ等費用

<研修費に含まれないもの>

新規にパスポートの申請費用、超過手荷物料金、任意加入の旅行傷害保険料、電話代等の個人的費用、研修中の夕食費、関西空港への往復交通費

◆ **申し込み方法:** 「申込書」に必要事項を記入の上、下記の申し込み先に郵送または Fax にてお送り下さい。

◆ **申し込み先:** 〒644-8588 和歌山県田辺市新庄町 46-70 社会保険紀南病院中央臨床検査部 玉置達紀
Tel (Fax): 0739-22-7245
Email: ttamaki@kinan-hp.tanabe.wakayama.jp

◆ **締め切り:** 2009 年 7 月 31 日(金)

※ お問い合わせは 和歌山県臨床衛生検査技師会まで

…投稿…

精子検査の副読本

～医学検査投稿に添えて～

広島市立広島市民病院

臨床検査部 丸川健一

男性外来の開始を期に精子分析装置を購入することとなったのが 2 年前である。新棟建設に伴う検査室の移転、全検査システム(検体、生理、細菌、輸血等)の更新、分析器の総入れ替え、電子カルテの開始など…壮絶な年であった(医学検査第 55 巻 11 号共同投稿、H20 年中四学会報告ほか)。院内、院外様々な分野の皆さんの協力を頂いたおかげでなんとかスタート出来、一段落したところに、これが移転した年の最後のイベントとなった。分析器のオンライン、マスターの登録、電子カルテへの表示、検査 Web での表示、これらすべての確認をしなくてはならない。“もうこれ以上結構”と言いたいところでのラストスパートであった。

折しもそのころの仕事帰り、駅ビル内の立ち寄った本屋さんで、ふと目に飛び込んできた本があった。それが今日紹介する本、「**あなたの知らない精子競争**」～BC な世界へようこそ～ 竹内久美子著 文藝春秋文庫 ¥495 である。

これはちょうど良いタイミング、何かの運命的なものを感じ、一読もせざるくに内容も見ずに早速レジへ向かった。レジのお姉さんは笑顔で「商品をお預かりします。」と下を向き、商品を見た後「チャリ」と私の顔を見たときは、先ほどの笑顔は消えていた。一瞬であったが気まぐれ時間が流れ、そしていつものように「カバーをお付けしますか?」とポーカーフェイスで質問。後ろめたさを感じる必要は無いのだが、やや、伏目加減でかばんの中の財布を探しながら「お願いします」。そんなやり取りのあと、駅の自動改札をくぐりホームに滑り込んできた電車に乗り込んだ。毎日片道 17 分の私の貴重な読書タイムの始まりである。満員電車の中さっそく目次を広げて目に入った文字に仰天! 思わず本を閉じ周囲を見渡した。そこに並んでいたのは官能小説がいの文字の羅列である。タイトルがタイトルだけに…

「浮気の際は精子も元気」「マスター○○君～・・・」「レイプは・・・」「男がペ〇スにこだわる・・・」「同性愛はお手伝い?それとも・・・」など何とも 18 禁の官能小説のような、こんな言葉が柱(各ページを開いたとき左上に付いている見出しのこと)に書かれているのではないかと

とても大きく開いて読めたものではない。しかし、大開きには出来ないけれども、少しずつ読み進むうちに段々とその内容に引き込まれていき、危うく乗り過ぎそうになった。いやいや、検査技師にとって実に面白い。イヤラシさは無く、科学的に、実に客観的に書かれている。つつい読みふけてしまい 3 日で読み終えてしまったのである。

検体検査を行っているとい提出された検体の状態のみに気を取られ、それがどのような状態で採取されたか、採取されるまでの状況はどうであったか、当院のような看護師による中央採血方式ではあまり気に掛けることが無い。採血であれば早朝空腹時、腹部超音波では絶食が基本となっており、乳ビしていれば高脂血症かな?と考えるのである。精液は早朝空腹に関係ないと思われるし、禁欲期間、採取方法や条件など明記されている様子も無く、検査のバイブル「臨床検査法提要」にもその記述はない。患者さんの電子カルテにも採取に関する IC も、説明も記録に無い。なんと不確定要素の多い検査であろうか。

今回紹介した本が、何処まで科学的根拠に基づいているのか?エビデンスは?などいろいろ考えさせられた。不明瞭なのは検体採取までの過程だけではなく、購入した機器も同様であった。イスラエル製のこの分析器、RS232C と Video 端子が付いている。結果の送信電文は Excel 形式で送信されている様子だ。詳細な資料は無く、ANK, NAK 等の電文形式は非公開、232C アナライザーで解析を行って取り込みが出来た。Video 出力も AVI 形式で 1 分間のファイル容量が CD 1 枚分約 700MB であることが判明。検査 Web サーバーにこのような莫大なデータを送り出していたら、生化学大型分析機はあつという間にオンラインが切れる事は間違いない。LIS 開発 SE さんと話を詰める事数時間、お金をかけずに臨床にインパクトを与えるためにフリーソフトを使うことになり、AVI→MPEG4 に変換し、10 秒間のみの動画取り込みということになった。

今月の医学検査(第 58 巻第 7 号)(※)に運用面の詳細など当院からの論文を投稿しています。それに眼を通していただく前に、是非この本を読んでいただきたい。科学者の一端である臨床検査技師の皆さんは、きっと鞭毛を動かしながら視野の中を一生懸命動いている精子たちに、哀愁の念を抱いて結果を報告していただけるものと思う。また多くの女性検査技師の皆さんには、男性の不可解な行動の源はここにあることが理解していただけるのではないかと思います。 <了>

※ 論文名:「精子特性分析機-V(SQA-V)の導入による業務の効率化と診療支援—精子機能所見の有用性と機器の有効的活用について—著者 河野浩善 他」

